

平成 30 年度第 1 回高知県食育連携推進協議会 議事要旨

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）午後 2 時～午後 4 時

場所：高知県立県民文化ホール 1 階 第 11 多目的室

出席者：委員 9 名（欠席 4 名、代理 1 名）

事務局 11 名

（食品・衛生課 1 名、地域農業推進課 1 名、漁業振興課 2 名、
幼保支援課 1 名、生涯学習課 1 名、保健体育課 1 名、
健康長寿政策課 4 名）

○協議事項

- （１）第 3 期高知県食育推進計画進捗状況について
- （２）その他

○議事等概要

（１）第 3 期高知県食育推進計画進捗状況について

今年度の取組計画について、第 3 期高知県食育推進計画の第 4 章の第 1 節から第 4 節までの主な取組を担当課及び委員が報告を行った。

<第 1 節 高知家の未来を担う子どもの食育の推進>

食育講座の実施、朝食摂取 100%に向けた取組については、委員から、子どもの朝食摂取率の向上に向けて生徒にアンケートをとり支援を予定していることや、地元食材による魚食調理実習や関係団体と連携した調理の体験実習と出前授業の実施、子ども食堂の開設、各地域の J A によるアグリスクールの開催について報告があった。

担当課から、3 歳児の保護者を対象にした基本的な生活習慣に関するパンフレットの配付や学習会の実施について、取組強化月間（6 月、11 月）による取組結果調査の実施、啓発用キャラクターツールの貸し出しや生活リズムの認定証の送付、食事提供活動の実施や健康教育副読本の活用について報告した。

【質疑】

- ・朝食摂取 100%の達成に向けた具体的な取組について、委員から各現場の学校栄養士が学級担任や家庭と協力しながら食べる子を増やすようにすること、食事提供活動事業では、本当に来てほしい子ども達が来ていないという課題があるとの説明があった。

<第 2 節 健康長寿を実現する食育の推進>

委員から、食育イベントの実施予定、栄養ワンダー2018 での啓発、高齢者の低栄養予防として「シニアカフェ」の実施、学校での歯と口の健康づくりの取組について報告があった。

事務局から「減塩プロジェクト」「健康パスポート」事業について報告した。

【質疑】

- ・県としての中食への取組について、事務局から中食への取組については検討が不十分だが、中食の利用が増えてきていることから上手な利用について、今後の取組として検討が必要と説明した。

- ・委員から、高齢者の食が細くなるというのは、歯との関係があるのではないか。また、「薄味でおいしく」という健康弁当としてエネルギーと塩分を表示するなど、量販店でも取り上げてもらいたいとの意見があった。事務局から、歯科健診の仕組みができていないのが成人期で、市町村に対して健診実施に向けた提案を行っていること、健康サポート事業の中でヘルシー弁当として量販店やコンビニ等で協力いただいていると説明した。
- ・委員から、フッ化物洗口について、市町村で実施に差があり、やっているところはむし歯の数も少ないが、フッ化物洗口はできれば統一して全県挙げて取組をしてもらいたいと意見が出された。事務局から、フッ化物洗口に県を挙げて取り組んでいる状況について説明した。

<第3節 食の理解と継承>

委員から、季節の祭事では、旬の野菜を使った料理教室やレシピ紹介、職場体験を実施していること、海外への発信として各国の卒業生が郷土料理の伝達を行うこと、農産物の収穫体験の実施、学校給食への地場産物の活用や防災給食を実施していること、安全・安心の確保で生産出荷段階における農畜水産物の検査の実施、直販所活性化セミナーの実施について報告があった。

担当課から、食文化の継承として「土佐の料理伝承人」による郷土料理の伝承会の実施、意見交換によるリスクコミュニケーションの推進、「高知の食べものいっぱい入っちゃう日」「高知家のカレーの日」「高知家のおだしの日」の実施について報告した。

【質疑】

- ・委員から、地産地消の推進について、家庭でも取り組めるような県民運動的な取組にしてはどうか、また年に1回でも取組の日を決めて企業や小売業、レストラン等にも広がるような取組の検討をとの意見があった。

<第4節 食を育む環境づくり>

委員から、農業体験にプラスする食の教育について、食育に従業員が一丸となってできる取組の検討を行うとの意見や、学校内でボランティアを人材バンクに登録しての計画的な活動の実施を予定しているとの報告があった。

事務局から、県民運動の推進として、食育に関心を持ってもらうことや県民への周知やイベント等の普及・啓発の実施について報告した。

【質疑】

- ・委員から、県民運動の推進について、チラシ以外で何かやっているかとの質問があり、事務局から食育応援店での継続した取組の実施について説明した。
- ・委員から、健康教育副読本について、学校で配付されているのか、見たことがないとの意見が出され、事務局から児童生徒への配付及び学校での活用について説明した。
- ・委員から、生活リズムチェックカードが2つの課から届くとの意見があり、担当課から3歳児と4歳児以降についての担当課が異なっているとの説明があった。
- ・委員から、減塩プロジェクトのポスターとPOPについて、ポスターとPOPが大きく掲示が難しいとの意見があった。

(2) その他

他に意見なし

事務局から第2回会議の開催時期について説明を行い、了承された。

以上で会議を終了した。